

国際一列-第2620地区
静岡第5グループ



POWER HAMAMATSU
ROTARY CLUB
JAPAN

2018-19 週報 パワー浜松ロータリークラブ

「能動的に参加し、お互いを高めあおう」

RI 会長 バリー・ラッ / 第 2620 地区ガバナー 星野義忠 / 会長 鷲津有一 / 幹事 鈴木一広
〒430-7733 浜松市中区板屋町 111-2 オークアウトシティ浜松 4307 号室 Tel:053-452-0800
Email:info@power-hamamatsurc.jp http://www.power-hamamatsurc.jp
創立：2002 年 10 月 22 日 認証伝達式：2003 年 4 月 29 日 スポンサークラブ：浜松中 R C



第752回例会2月19日(火)AM7:30~8:30

- 会場：オークアウトシティホテル浜松 3 階 チェルシーの間
- 司会：小林昭次 高木一浩 ■点鐘：鷲津有一 ■週報：村木則子
- ロータリーソング：「我等の生業」
- ゲスト：樹木医 正木伸之様
浜松東 RC より 静岡第 5 グループガバナー補佐 神谷竹彦様
同 IM 実行委員長 星野悦雄様
米山記念奨学生 肖英華さん

出席報告/スマイル報告

会員数 78 名 (内出席免除会員 2 名)
出席数 61 名 出席率 80.26%
前々回出席率 80.42%

- ① 鷲津有一会長(2 本) ②財団プログラム部会 ③西尾文克さん
- ④高橋邦明さん ⑤高木一浩さん
- ⑥小澤邦比呂さん

会長挨拶

おはようございます。正木先生、植栽・植樹事業では大変お世話になっております。本日も早朝よりお越し頂き、ありがとうございます。また、神谷ガバナー補佐・星野 IM 実行委員長にも早朝よりありがとうございます。



2 月 4 日に立春を迎えましたが、2 月 8 日には観測史上最強クラスの寒波が日本を覆い、札幌では 30 年ぶりとなる日中の最高気温が氷点下 10 度を下回る寒さとなりました。滅多にない寒さを経験したいという欲求は全くありませんが、その時私は北海道に行っていました。

当日は、小樽で -12.3℃、キロ口で -17℃を体験してきました。もともと真冬を経験したことがないので、寒さに閉口するより、さらさらした北海道の雪に触れ、ワクワクさせていました。

9 日 19:30 千歳発 21:25 セントレア到着の便で帰る予定でしたが、空港で 50 分遅れとアナウンスされましたが、実際には 75 分遅れの出発となりました。セントレアに着き、まだ e-wing の最終には間に合うと余裕で乗り場に向かうと様子が変わりました。乗り場が暗い、人がいない、切符売り場にはシャッターが、最終バスの時間を 30 分勘違いしており、発車するバスはもうありませんでした。

慌てて名鉄での移動に切り替えましたが、豊川市伊奈駅までしか行くことができず、そこからタクシーで西インターまで移動し、10 日午前 1:30 にやっと帰宅することができました。飛行機の運行には遅延があるというリスクを身をもって経験してまいりました。

ガバナー補佐訪問挨拶

静岡 2620 地区第 5 グループ
ガバナー補佐 神谷 竹彦



7 月から始まったロータリー年度も折り返し点を過ぎました。各クラブでは着々と次年度体制の準備が進んでいる頃で、当クラブでも会員皆様お忙しく活動されていることかと思えます。

星野ガバナーの 14 ある地区目標についてですが、その実施は順調に進んでいます。今日は特に今年度から取り上げられた R L I についてお話しさせていただきます。

ロータリーリーダーシップ研究会と訳されていて、ロータリーを語り合う中で活性化を図っていくというものです。これは草の根運動的な活動として 1992 年米国で発案され日本でのスタートは 2008 年からです。34 地区中 21 地区で採用され現在 5 地区が準備中です。地区でディスカッションリーダー (DL) を 30 名程度今年度中に誕生させ、この DL が以前からありました各クラブのクラブ研修リーダーを育成していくというものです。草の根的な息の長い活動ですが、この活動を通じて会員がよりロータリーのことを理解し、より良い人材が育ち、クラブが活性化していくことを意図しています。

皆様が R L I を実感されるのはまだまだ先の事かと思いますが今日はこの R L I という言葉だけでも記憶の片隅に置いていただければ幸いです。

後半は IM 実行委員長の星野が 3 月 23 日開催の IM の概要をご説明致します。

議 事



財団プログラム部会
樹木医 正木 伸之 様 卓話

3つのことに絞って話しをします。

- ① 去年の 21 号、24 号台風のこと。遠州では 24 号台風の影響が大きかった。電気に依存する生活をしてきたことがよくわかったが、これに対処するにはどうすればよいのか。
- ② 最近急に話題になった白血病の池江選手のようなガンのはなし。
- ③ がんの原因を調べると食べ物に影響をしているのではないか。

まず、台風で停電になった理由。電線に木が倒れて、多くの理由だった。山を放っているのがこうなったという人もいるが、僕らから見ると山の質がわるくなっている。山によっては質が違うので、それを見て植える木を選ばないといけない。残念ながらそうではなくて、適当に植えた木を放ってある。戦時中の話が一番わかりやすいが、燃料、船、トラック、バスすべてが木造だった。使えるいい木は戦争中に取られていた。

広葉樹の中にも、赤樫、白樫、イチイガシといういい木もある。タコの屋台の輪っかは全部赤樫。絶対折れては困るところには赤樫が使われていた。今は殆ど見られないが、わずかに残っているのは中山間地にあるだけ。いい木はあるが、深く根が入ってちゃんと山を守れるかという視点が抜けているので、今回のような悲劇が起こった。こないだの大停電の大きな原因だったと思う。

次に、30 年ほど前からよく効くと思って除草剤を使っていた。根まで枯れるという除草剤、ラウンドアップがあった。自分がガンになって気がついた。除草剤について発がん性がはっきりしてきたので、アメリカでも使用制限をかけている。EU、オーストラリアでも使用制限。日本だけは特許が切れているので、いまや 17 メーカーが売っている。禁止していない。なぜ日本では野放しにするのか。

除草剤だけとっていたら、殺虫剤、殺菌剤にも随



植林後の堤防の様子

分そういうものがあって、シャープに効くものがある。それらにも発がん性がある。効くからと簡単に使ってはいけない。よほどプロテクトするか、少々の虫は我慢するとか。いまや無農薬栽培のものが発展していくのも無理のない話と思う。

もう一つ肉類が抗生物質漬けになっている。豚でも堆肥をもらって積んでいても、腐るのが遅いと農家に聞いていた。抗生物質が影響をしているとは思っていなかったが、どうもそういうことがあるらしい。人間はよほどでない抗生物質を飲まないが、豚、鶏は日常的に食っている。腸内細菌のバランスが崩れる。腹の状態が頭にも影響をすることも言われるようになった。

では何を食ったらいいのかを考えると、二宮尊徳が言っている、「身命の長養は衣食住の三に在り。衣食住の三は田畑山林にあり。」まともに働いていればいい。1日歩いて行ってとれるくらいのものを食べていれば健康でいられるとっている。

年々歳々不可忘報徳	来年年食今年在艱難	今年衣食在昨年産業	田畑山林在人民勤耕	衣食住三在田畑山林	身命長養在衣食住三
-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

いまや田畑山林は荒れ放題。耕作放棄地が出るほどの政策そのものがまずい。日本の食糧需給率はカロリーベースで輸入が 30 数%、穀類の需給に関していうと 20 数%、世界で見ると 127 番目。フランス、アメリカにしても 100 数十パーセント。ブータンも 100 数十パーセントの食料需給率。食べるものがあると人間がゆったりする。食べ物を粗末にせず、自分の国でつくれるものは作るのがいい。安全なものを食べられる。

衣食住の衣、住は良くなってきた。アトピー、アレルギーが増えているのも衣食住に原因していることが多い。何か狂っているのではないか。

山の質を良くする。電気を工夫する。ガンにしても、うっかりいろいろなものを食べないようにする。報徳訓にあるような生活を一つでもできるようにしたらよいのではないかとと思う。